

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	微分積分学第一		
英文授業科目名	Calculus I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	内藤 敏機		
居室	東1-503		

公開E-Mail	授業関連Webページ
naito@e-one.uec.ac.jp	

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>(a) 主題:各学科の専門科目を受講するにあたり, 数学的なバックグラウンド(微分積分学と線形代数学)は不可欠である. 微分積分学は, 自然科学を語る「言葉」であり, その意味で現代の科学技術の基礎を支えている.</p> <p>微分積分学第一では, 1変数の微分積分の基礎的事項を学ぶ. 内容的には, 高校での微積分を発展させ, 主に初等関数(多項式, 三角関数, 指数関数およびその合成関数, 逆関数として得られる関数)に関する微積分の取り扱い(計算法, 応用)を深める.</p> <p>(なお, 高校で学んだ範囲の微積分に自信のない人は, 別に「数学補習授業」が開講されているので, 積極的に受講してほしい.)</p> <p>(b) 達成目標</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>(高等学校の微分積分)</p>
---

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p>
-------------------------------------

【教科書等】

教科書：三宅 敏恒 著『入門 微分積分』（培風館）

参考書（上記教科書より少し高レベルで担当教員から推薦のあったテキストの例）

金子 晃 著『理数系のための基礎と応用 微分積分Ⅰ,Ⅱ』（サイエンス社）

杉浦 光夫 著『解析入門Ⅰ,Ⅱ』（東大出版会）

高木 貞治 著『解析概論』（岩波書店）

押川元重・阪口紘治 共著『改訂版 基礎 微分積分』（培風館）

【授業内容とその進め方】

連続関数

- ・実数
- ・連続関数
- ・初等関数
- ・ - 論法（講義では必ずしも取り上げない）

微分法

- ・関数の微分
- ・平均値の定理
- ・高次の導関数
- ・テーラーの定理

積分法

- ・定積分と不定積分
- ・積分の計算
  - ・広義積分
- ・区分求積法と定積分の応用

(b) 授業の進め方：

講義が主体である。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 成績評価方法

出席を重視し、出席を毎回とります。そのために座席を固定します。第一回(または第2回)の講義のときに着席した席と同じ席に毎回着席してください。

出席点25パーセント、レポート25パーセント、期末試験50パーセントの割合で成績評価の予定。

#### (b) 評価基準

1変数の微積分(極限, 微分, 積分)の基本的計算法則を理解し, 簡単な関数に対して適用できることを合格の基準とする。

### 【オフィスアワー: 授業相談】

原則として毎週月曜日から金曜日16:30 - 18:00に研究室(東1-503)で質問などをうけます。電子メールによる質問はうけつけません。

### 【学生へのメッセージ】

高校の微分積分と同じようなことをやるように見えるかもしれませんが、論理的思考力をはるかに要求されます。

### 【その他】